

アジア国際法学会日本協会第 5 回研究大会のご案内
— 2014 年 6 月 15 日、中央大学市ヶ谷キャンパス—

アジア国際法学会日本協会は、第 5 回研究大会を下記のように開催します。

日時：2014 年 6 月 15 日（日）、10 時～18 時

会場：中央大学市ヶ谷キャンパス（〒162-8473 東京都新宿区市谷本村町 42-8）

午前の部では「東アジアにおける海洋秩序」というテーマの下で南シナ海の海洋紛争を取りあげます。紛争の歴史的経緯と現状、中国・フィリピン・ベトナムが自らの主張の正当化のために依拠する国際法理論、国連海洋法条約上の紛争解決方式と ASEAN 方式との関係、南シナ海をめぐる中国・ASEAN・米国の国際政治関係などを、フィリピン人研究者、中国人研究者も報告者に招き、多面的に考察します。

午後の部では「メガ FTA 時代の到来と多角的貿易体制のあり方」というテーマの下で、まず FTA の歴史的な形成・変遷過程を、GATT/WTO との関係も視野に入れつつ確認し、FTA の現代的意義を探ります。ついで環太平洋経済連携協定（TPP）、環大西洋貿易投資パートナーシップ（TTIP）などのいわゆるメガ FTA（構想）の現状と課題を、とくに投資仲裁、農業、紛争解決の面から論じ、それらが多角的貿易体制に与える影響について考察します。皆様、ぜひご参加ください。

研究大会プログラム

午前の部（10 時 00 分～12 時 30 分）

テーマ：Maritime Legal Order in East Asia

報告者：西本 健太郎（東北大学准教授）

Harry ROQUE (Associate Professor, University of the Philippines / Attorney, Roque & Butuyan
Law Offices)

張 新軍 ZHANG Xinjun (清華大学副教授 Associate Professor, Tsinghua University)

使用言語：英語（和訳資料を配付します）

アジア国際法学会日本協会総会（12 時 30 分～13 時 00 分）

昼食（13 時 00 分～14 時 30 分）

午後の部（14 時 30 分～18 時 00 分）

テーマ：メガ FTA 時代の到来と多角的貿易体制のあり方

報告者：荒木 一郎（横浜国立大学教授、総論）

濱本 正太郎（京都大学教授、投資仲裁）

山下 一仁（キャノングローバル戦略研究所研究主幹、農業分野と FTA）

末富 純子（ベーカー&マッケンジー法律事務所弁護士、WTO と FTA の紛争解決制度）

使用言語：日本語

レセプション（18 時 15 分～19 時 15 分）

夕食会（19 時 00 分～21 時 00 分）

<ご案内>

- (1) 登録方法：アジア国際法学会日本協会会員の方は、4月下旬にお送りする返信用葉書にて、ご登録ください。会員でない方は、日本協会ホームページより6月8日(日)までにご登録ください。ホームページでの登録受付は、5月初旬に開始します。
- (2) 傍聴料：アジア国際法学会日本協会会員ではない方は、会場にて傍聴料1000円を申し受けます。ただし、日本協会団体会員にご所属の方およびアジア国際法学会会員の方は、いずれも無料です。
- (3) お問い合わせ：アジア国際法学会日本協会・研究大会事務局 (asiansil-conference@nifty.com) までお問い合わせください。



市ヶ谷キャンパスへのアクセス

- 都営地下鉄新宿線／曙橋駅（出口 A3）下車 左手へ徒歩3分
- 都営地下鉄大江戸線／牛込柳町駅（原町一丁目出口）下車 徒歩13分
- 東京メトロ有楽町線・南北線／市ヶ谷駅下車 徒歩13分
- 東京メトロ丸の内線／四谷三丁目駅（出口4）下車 徒歩8分
- JR 総武線／市ヶ谷駅下車 徒歩13分
- JR 総武線／四ツ谷駅（四ツ谷口）下車 徒歩13分